

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

風薫新緑の季節、寒暖の差も激しく、皆様におかれましては風邪などお召しになっていらっしゃいませんか。

先日の熊本県での激震で、被災された方々を思うと胸が痛みます。愛おしいご家族様を亡くされた方々に対し、心よりお悔やみ申し上げます。

弊社は4月より新年度を迎え、訪問介護事業所を葛飾に立ち上げる運びとなりました。これを機に、社員一同皆様のご期待にお応えできるように一層精進してまいりますので、何卒倍旧のご愛顧のほどお願い申し上げます。

訪問介護事業所

サンライズ・メイト・バート葛飾が オープン致しました！

このたび、葛飾区内におきまして「訪問介護事業所サンライズ・メイト・バート葛飾」を開設する運びとなりましたので、お知らせ致します。

平成27年8月開設に「居宅介護支援事業所」に続き、訪問介護事業所2か所目のオープンになります。これもひとえに、皆様方の一方ならぬお力添えのおかげと、心より御礼申し上げます。

新しい事業所開設を契機に、役職員が一丸となって、皆様方に喜んでいただけるサービスが提供できますよう、ますます努力致す所存でございます。

今後もこれまで同様、弊社に対しまして一層のご愛顧を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

【事業所名】	訪問介護事業所 サンライズ・メイト・バート 葛飾
【所在地】	〒125-0061 東京都葛飾区亀有3-2-5
【連絡先】	電話 03-5647-7215 FAX 03-5647-7216
【事業所番号】	東京都指定 1372207116
【指定年月日】	2016年4月1日
【事業内容】	介護保険法に基づく訪問介護事業、介護予防訪問介護事業 障害者総合支援法に基づく居宅介護事業、同行援護事業 日常生活支援総合事業 (葛飾区は2016年6月より、足立区では2016年10月より開始予定)
【管理者】	富所 司郎

ふくろうのつぶやき

昨年夏に「葛飾営業所」を開設し、居宅介護支援事業所に続き、この4月に訪問介護事業所を開設致しました。弊社代表が生まれ育った街でもある「葛飾」について、考えてみました。

「男はつらいよ（寅さん）」「こちら葛飾区亀有公園前派出所」は、葛飾が舞台であることはあまりにも有名です。「3年B組金八先生」の舞台でもあります。これ以外に、有名なサッカー漫画「キャプテン翼」の舞台が葛飾であることを、最近知りました。作者の高橋陽一先生が、葛飾のご出身だそうです。

どれも、日本が世界に誇れる作品ばかり。

名所もあります。「柴又帝釈天」「矢切の渡し」「堀切菖蒲園」「一里塚」等々……

「葛飾」は、全国が注目する場所と言っても過言ではないということですね。

また葛飾区内には、小学校が50校、中学校が24校、高等学校が9校あります。

2013年には、金町駅付近に「東京理科大学 葛飾キャンパス」が開設されました。

大学誘致によって得られる経済効果は、計り知れないと言われています。優秀な学生が葛飾に集うこと、うれしいですね。このように「地域を知る」ということは、介護サービスを提供する上で大切なことの一つです。

私たちが働く場の周辺のこと、今一度見つめなおしていきたいと思います。

NEWS 今月のニュース

繊維技術で床ずれ予防

試験場と前工大連携 桐生のフジレース

介護施設などで課題となっている床ずれ対策として、カーテンレース製造のフジレース（桐生市相生町、中野隆雄社長）と群馬県繊維工業試験場、前橋工科大は、寝たきり高齢者などの衣服に繊維状のセンサーを取り付け、寝具と体の接触時間などを把握するシステムを開発した。情報は施設職員が携帯型端末で受け取り、適切な介護につなげる。人手不足が深刻とされる介護現場の負担軽減も図る狙いだ。

2年後の商品化を目指し、実証実験を重ねながら、バッテリーなどの装置の小型化を検討している。

床ずれは、長時間同じ姿勢のままであることで起きる皮膚の炎症

が原因。防ぐには、たびたび体位を変える必要がある。同社などは介護現場の意見を聞き、共同で昨年4月に予防システムの研究開発を始めた。

多様な機器をインターネットにつなぐ「IoT」の考えを応用し、フジレースの独自技術で銅線を編み込んだ繊維センサーを開発。この繊維を被介護者の衣服に取り付け、体と寝具の接触時間や体位の情報取得し、個人を特定するIDとともに数分間隔で情報端末に自動で送信する。職員は受信した情報を基に、介助の必要性を判断できる。

衣類に取り付けるため金属アレルギーの心配が少ない。センサーは洗濯でき、衛生的なもの特長だ。

前橋工科大による実験で、被介護者の状態を正確に把握できるこ

とが実証された。工学部の小田垣雅人准教授は「操作が簡単なので施設職員が使い方を覚える手間も少ない」と説明する。

試験場の近藤康人独立研究員は「長い間蓄積してきた桐生の繊維技術が大いに活用できる」と強調。「端末に送信するのは接触情報とIDに絞り、プライバシーにも十分配慮した」とし、現場での普及に期待している。



▲商品化を目指し実験を進めている床ずれ予防管理システムの繊維センサー

<上毛新聞2016年4月18日(月)>

今月の名言

困っている人を助けた時に、こころがあたたかくなって、そのときにわかったんだ。ぼくが何のために生まれてきたのか、何をして生きていくか、何がぼくの幸せかって……

(アンパンマン)



国民的アニメである「アンパンマン」。

作者の故・やなせたかし先生は、自身が戦時中に飢えに苦しんだ実体験から、

「困っている人、飢えに苦しむ人を助ける」というコンセプトで、アンパンマンを描いたそうです。

東日本大震災が起こった際、子供が安心できるように、ラジオのリクエストで「アンパンマンのマーチ」を流してほしいというリクエストが殺到し、それを聞いた多くの方が涙し、希望をもらったとのこと。

夢と希望と勇気を与えてくれるアンパンマン。熊本地震で被災された方にも、そうあってほしいと願うばかりです。

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>